# 体験発見おもしろ新聞

## 最終号

2015.10.30発行
鹿追町立笹川小学校
6年
石川 諒
川津 愛未
戸草 心里
中公 桜都
吉田 愛梨

## 魚と自然

私は六年間いろいろな体験活動をして、然別湖がきれいだということを改めて思った。だから、私は先のことを考えながら自然を大切にしていきたいと思った。五・六年生は然別湖へグレートフィッシングをしに行き、自然の大切さを学んだ。

笹川小学校の五・六年生は然別湖へ釣りをしに行った。児童と大人の一人ずつ、二人一組になって一つのボートに乗り、約四時間釣りをした。天候は、雨が降ったり晴れたりしていたけれど、みんな釣りを楽しんでいた。私達が釣った魚は、サクラマスやミヤベイワナだ。ミヤベイワナとは、オショロコマの亜種。ヤンベツ川で独自に進化し、現在は然別湖とその川につながる川にしかない時別な魚だ。

私は魚があまり釣れなかったけれど、魚が来るのを待っている時、湖がとてもきれいだなと思った。岸辺へ行くと、三メートルぐらい深いのに、湖の中の岩が見えるのにおどろいた。このことから、然別湖の湖はとてもきれいだなと思った。然別湖の湖がきれいなのは、利用している人がきれいになるように心がけているからだと思う。でも、然別湖の山に登ると、ゴミを捨てていった人がいた。ゴミを捨てていった人は別にいいのかもしれないけれど、それを見た人はとてもいやな気持ちになると思う。今まで楽しかったのに、それを見ると気分が下がってしまうから。ゴミは自分で持ち帰るなどをし、他の人のことを考えて楽しく然別湖を利用してもらいたいと思った。このことを、利用するみんながすれば、然別湖の自然はきれいになると思うが、みんなが考えずにゴミを捨てていってしまうと、どんどん自然がきたなくなっていき、楽しいつりや登山もできなくなってしまうと思う。ちょっとしたことから自然をこわすことにつながるから、しっかり考えることが大切だなと思った。

私が初めて釣りをしたのは去年のグレートフィッシングだった。そこで、私は釣りの楽しさに気づき、ミヤベイワナを釣れた時はとてもうれしかったのを覚えている。今年は、どこに行ったら魚を多く釣れるのかな、などと考え、釣りをとても楽しむことができた。

私は、グレートフィッシングを通して改めて自然を大切にしたいと思った。このことをたくさんの人に思ってもらえるように。

然別湖でしかできないグレートフィッシングをいろいろな人に体験してもらい、自然の大切さに気づ[illegible]しさを広めてほしい。そして、らよりも然別湖の自然をきれいにしていきたいと思った。

## 山菜採りの心得

笹川小学校は毎年恒例の山菜採りに行った。児童で自転車に乗り、近くの防風林に行ってウドやタランボなどを採った。

私のチームは、私をふくめ三人で行動した。防風林の中に入ると、タランボの木がたくさんあった。タランボはいつもより小さく、虫に食べられているものもあった。一部、タランボの木が切られているのもあった。私は、その木を見て、「どうしてこんなことをするのだろう。どうして次の人の事を考えないで木を切るのだろう。」と思った。おそらく、木を切った人は何も考えずに自分のことしか考えていなかったのだろう。私がその人の立場になったら、きっと自分のことしか考えられなくなると思う。笹川小学校では山菜を採る頭に確にんすることがある。それは、「山菜が三本あったとしたら、一つは自分。二つ目は他の人。三つ目は「来年」」ということだ。だから、この事を考えていないでやると色々な楽しいこともできなくなってしまう。その人は悪気はなかったと思うが、他の人が見たらいやな気持ちになってしまうし、みんなの防風林だから色々な事を考えて山菜採りも楽しんでもらいたいと思う。

この活動を通して六年間色々なことを学んだ。一年生のころは、山菜を採ったこともなかった。初めて採って食べた山菜はとても美味しかったのを覚えている。毎年やるとウドの木もわかってきてウドを探すこともできるようになった。そして、木が切られているのを見てショックになったが、私も同じことをしてしまったら他の人が悲しんでしまう。だから後のことをしっかり考えて山菜採りを楽しみたいうことを改めて学んだ。

## 改めて実感…

笹川小学校では、全校で畑の学習をしている。班は四つに分かれて、作物を育てていた。去年まで三種類だったが、今年は一種類の作物を育てる事になった。作物は十月のふれあい参観日に地域の人達に販売した。

私の班は、ジャガイモを育てた。失敗した事は、うねを盛った時に横幅が足りなかった事だ。どういう方法で直したら良いのか、地域の人に聞いてスコップでなんとか修正した。

良かった事は土寄せと芽かきだ。土寄せはイモが地表に出て緑化するのを防ぐためだ。芽かきをしないとイモの数は多くなるが、大きなイモが収穫出来なくなる。それらを防ぐ作業を何度も行った。

他の班も失敗した事や成功した事があったが、それぞれ工夫していた。

ふれあい参観日に作った試食を「おいしい」と言ってもらえて嬉しかった。

私は六年間畑の学習をして、失敗した事や成功した事を活かしていたと思う。ふれあい参観日の時に、書いてもらったコメントを読んで、作物を生産する事の意味を感じる事が出来て良かった。

## これからも川を…

毎年笹川小学校は近くにある然別川でガサガサをしたり追い込み漁もしたり川の上の上流で魚を釣ったりしている。今年も高学年と低学年に分かれ活動した。釣りもする時、今年はブドウ虫えさをミミズに替えた。生きているミミズも針につけるため、「気持ち悪い」などと言い[illegible]ていた。最初はなかなか釣ることができなかった。次々に場所を変え釣ると何匹か釣ることができた。今年は十一匹しか釣ることができなかった。しかし、三十一センチメートルの大物を釣ることができた。大物がいるということは川の水がきれいだからだと思う。川がきれいなのは町に住んでいる人が、しっかりゴミを処理しているからだと思う。だからこのままの川も保ちたい。低学年はガサガサや追い込み漁もした。ガサガサでは、ドジョウやトゲウオなど獲った。追い込み漁では一匹も釣れなかったらしい。だから「来年はもっと釣りたい!」などと言っていた。高学年が釣った魚は学校へ持ち帰りみんなで食べた。去年は全員分の魚があったが今年は十一匹しか釣れなかったから二人一組に分かれ一匹を二人で食べた。

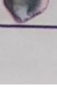
私は六年間、川の学習をし、自然を大切にすることを学んだ。一・二年生のころは「楽しい」や「またやりたい!」という気持ちしかなかった。だが五・六年生になり、自然も大切にしようという気持ちが出来た。自然も大切にしないと魚釣りなど楽しいことができなくなってしまう。これからも楽しい事ができるように生活排水などをしっかり処理してきれいな川を保ちたい。

## 六年間で得た知識

僕はこの六年間でグレートフィッシング(ふだんは禁漁の然別湖で期間限定でしかできない釣り)や山菜採りなどの色々な楽しい体験をして、様々な事を学んだ。その中で沢山の発見があった。ミヤベイワナや、シラカバジュースのとれる時期なども知った。

僕はこれから生きていく上で必要なものはやはり正しい知識だと思う。まちがっている知識は危険だし、自然破壊にもつながってしまう。

### 地球学楽しかったランキング



**一位** ナキウサギ探し

見つかるまでに、時間がかかって、バスに乗って帰ろうとした時に人形のようなかわいいナキウサギが現れてとてもインパクトがあった。

**二位** 秘密基地作り

ノコギリやナタを使って本格的に時間をかけて作ったから達成感もあったし楽しかった。

**三位** 川の学習

エサのミミズを付けるだけで大騒ぎになって楽しいのに、魚も釣れてさらにおいしく食べられた。帰りに川に転んでぬれたのも楽しかった。

今までの学習を通して、自然で楽しく遊んだり過ごしたりするのなら、自然の事も考えて自己中心的な考えを無くす事が大切だと考える。遊んだ場を汚したままにしたりする人は自然の中で遊ぶ資格が無いと思う。木を無駄に伐採したり、魚を沢山獲りすぎると今は沢山いる生物でも絶滅してしまう。

僕は六年間で沢山の体験活動をしてきたが、何をするにしても正しい知識と知恵が必要だと思う。そして、今起きている地球温暖化などの環境問題を少しずつ減らしていく事が大切だと思う。

オリジナル S 105